
Spell of the Liebe.

神咲ゆき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Spell of the Lieber.

【Nコード】

N1959Z

【作者名】

神咲ゆき

【あらすじ】

ぼく、都露誠智は何処にでも在るような家族の元に産まれて幼稚園・小学校・中学校に通い、そして現在は此また何の変哲も無い高校に通う、真面目な部類に属する男子学生だ。

或る日或る時、学内で比良達弥舞と言う女子学生に出逢い、ぼくと彼女は如何言う訳か親交を深めていく。

彼女は少し変わった少女で、ぼくには到底思い付かない様な思考で生きていた。

此は、そんな彼女とぼくの、知り合って親交を深め、そして離れる
迄の物語だ――。

のろい

『あたしには誰かを助ける事なんて出来ない』

『他人^{ひと}を理解出来ないから』

『だからあたしは此からもうこうして1人で生きるんだよ』

そう言つて彼女はいつもと同じように笑つてみせた。

其が、彼女と最後に逢つた日の事。

ぼくは彼女に手を差し伸べるべきだったのだろうか？

数日後、彼女は自ら壊れて居なくなつた。

きつと彼女は不良品^{こわれもの}で在る事に耐えられなかつたのだ、と思つた。
自分を諦める事が出来なかつたのだ、と。

其が悪い事だとは思わない。

彼女の考え方をぼくの尺度で測る事は不可能だから。

そして其は逆もまた然り。

ぼくは諦めていて、そして隠している。

自分を見せない為のコートを着て。

そのコートを守る為の盾を持つ。

総てを弾く為のナイフも手に忘れず。

そんなぼくが彼女を救う？

其を無理と言わず何と言うのか。

抑々ぼくには彼女を救う心算なんてなかつた。
馴れ合うなんて以ての外だ。

他人^{ひと}を無意識の内に意図的に踏み台にする。
ぼくはそう言う人間^{もの}だ。

彼女はぼくのそう言う一面に気付いて居た。
そして其処を切り付け引き裂いて消えて終わった。

ぼくは彼女の事を恋い焦がれる。

其はきつと、彼女がぼくにかけた呪いなんだろう。
その呪いを解く術は無い。

解き方を知っている彼女はもう居ないのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1959z/>

Spell of the Liebe.

2011年12月7日00時55分発行